



さとう健司

県政報告
Vol.23

いあいさつ



平成30年11月県議会では、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が1年後に迫る中、受入体制の整備を求めるとともに、歳入確保を目指して県の寄附制度の改善を提案しました。

皆様のお力添えにより、県議会2期目の任期も残すところあとわずかとなりました。本年も皆様のご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

◆平成30年11月県議会◆

NHK大河ドラマを通じた地域の活性化を

Q 現在の取り組みについて。

A この機を活かし、本県の戦国を中心とした魅力を発信し、観光誘客につなげるため、大河ドラマを活用した観光施策の展開を市町、観光協会と確認をした。



さらに、撮影誘致にも取り組み、10月から県内各地で風景の撮影が始まった。

Q 大津市との連携について。

A 明智光秀公ゆかりの地が数多く残る大津市において「麒麟がくる」大津市観光振興協議会が立ち上げられ、「コンテツ」開発や受入体制の整備に取り組みされている。県としてしっかりと支えて、取り組みを進めていきたい。また、放映の効果が全市町に波及するように全県が一丸となった組織を立ち上げ、他の武将も含め、戦国をテーマに情報発信を行う。

Q 坂本城址のある下阪本公園ではトイレ整備の要望も出されている。AR(拡張現実)による観光情報の提供等、受入体制の整備を進めるべきでは。

A 来訪者へのおもてなし体制の充実は今後も、ハード面で重要であり、ゆかりの地をAR等で紹介することにも可能性があると思う。県としてはトイレをはじめ、可能な限りアメニティの向上に努めるとともに、機を逃さないようにしっかりと取り組みを進めていく。

Q 映像拠点の誘致について。

A 映像産業は、撮影する際の直接的な経済効果のみならず、視覚的に地域の魅力を伝えることができる発信力の高い産業であると考える。ドキュメント放送による地域活

性が一時的なものにならないよう、今年度、実施している映像拠点の可能性についての調査の結果を踏まえ、機能や立地条件等を検討し、誘致を進めていきたい。

実現します

下阪本公園のトイレ整備については、地域からの要望や県議会でのこの質問を受けて既存施設の改修や身体障害者用トイレの増築に向けて新年度に工事が進められることになりました。



下阪本公園

活動報告

国土交通省に道路整備を要望

国土交通省を訪問し、森事務次官に道路財源の確保を要望しました。特に、国道1号の新しいバイパスについては昨年8月に滋賀県と京都市、京都府等で建設促進期成同盟会が設立されたことを受けて、渋滞対策や防災対策の観点から改めて早期の事業化を求めました。



自動運転車の実証実験

自動運転車の実証実験が草津市の立命館大学で行われました。今回の実験は、運転に人が関与しない「レベル4」と言われる車両を用いたもので、事前に作成した三次元マップをもとに自動で走行します。

